



かがやき



学校教育目標：豊かな人間性と確かな学力をもち、自ら伸びる子どもの育成

— やさしく かしこく たくましく —

《No. 6》 令和6年9月2日

出発 進行

いよいよ、2学期が始まりました。年々、暑さが厳しくなる猛暑、そして、第5類になった新型コロナも第11波が心配される夏休みでしたが、子どもたちは元気で楽しい毎日を過ごすことができたようです。たくさんの素敵な思い出とともに、心も身体もしっかり充電できた夏休みを終え、新しい気持ちで2学期をスタートさせます。

子どもたちには2学期のスタートにあたり、「2学期も、**はっきりとした目標**をもち、その目標を達成するために、**何をどのように頑張るのか**をしっかりと決め、**やりきっていこう**。」と話しました。『子どもファースト』を合言葉に、2学期も神杉小学校は進みます。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き、よろしくお願いいたします。

8月6日 平和と戦没者慰霊の集い

広島に原子爆弾が投下されて79年が過ぎた8月6日（火）、「平和と戦没者慰霊の集い」が行われました。全校登校日でもあったこの日、今年も児童会執行部の子どもたちが参加し、児童会長の平田 陽唯くんが「誓いのことば」を述べました。また、この日までに全校児童が平和への願いを込めて折った千羽鶴を、代表の2名が慰霊碑に手向けました。



平和の誓い

今から七十九年前、広島・長崎に原子ばくだんが投下され、多くの方が命を落とされました。関係ない多くの人の命がうばわれました。日本では戦争が起こっていいないので身近ではないですが、北朝鮮がミサイルを発射したというニュースを見るたび、他人ごとではないなと感じます。戦争が起こった場合、紛争が起こった場合、自分たちも参加しないといけないことに恐怖を覚えます。それは、戦争について学び、悲惨さやどんなことがあったのかを知っているからこそだと思います。これからも戦争について知っていかなければならないのだと強く思いました。

今の現状を大切にするために、ぼくたちができることはなんだろうと考えました。国と国との争いを見てみると、自分たちがしているけんかやほとんど変わらないなと思いました。そのため、仲直りの仕方を学ぶことやゆずること、お互いのよさを知ったり認めたりすることが平和への第一歩だと思います。相手の気持ちを考えられるよう、相手の意見をしっかりと聞くことができるようになるために、これからもしっかりと勉強しないといけないのだと思います。

また、地域の行事に参加しつながりを持つことも大切だと思います。いろんな人と交流することにより、今の自分の生活が豊かであることに気づき、感謝することができると思いました。

今ある平和に感謝し、家族や友達、地域の人たちを大切に神杉の平和、世界への平和を守り抜くことをここに誓います。

令和六年八月六日

神杉小学校 児童会会長 平田 陽唯

8月24日 PTA 環境整備作業

8月24日(土)、午前7時30分～8時30分までの1時間、PTA会員の皆様にご協力いただき、環境整備作業を行いました。学校周辺の伸びきった草刈り、グラウンド中に生えた草取りを中心に短時間のうちに、スッキリと環境を整えていただきました。おかげさまで、2学期を気持ちよくスタートできます。ご協力いただいたPTAの皆様、ご協力ありがとうございました。



8月26日 防災体験活動(5年生)



毎年5年生は、2つの体験活動を通してねらいに沿った学習を行っています。1日目となる8月26日には、防災に関する体験活動を学校を会場に行いました。神杉地区におられる防災士13名を代表して、有田新治さん、久保誠さん、山崎加代子さんを講師にお招きし、防災に関する知識といざという時のための体験を通して学習しました。前半は、近年様々な事象が起きている災害について知り、神杉地区のハザードマップを見ながら自分の家や自宅周辺の状況を調べました。後半は、体育館で「土砂災害VR体験」「心肺蘇生法」「ロープワーク」をグループに分かれ、体験的に学習することができ、万が一の災害に備え、貴重な学びを得ることができました。

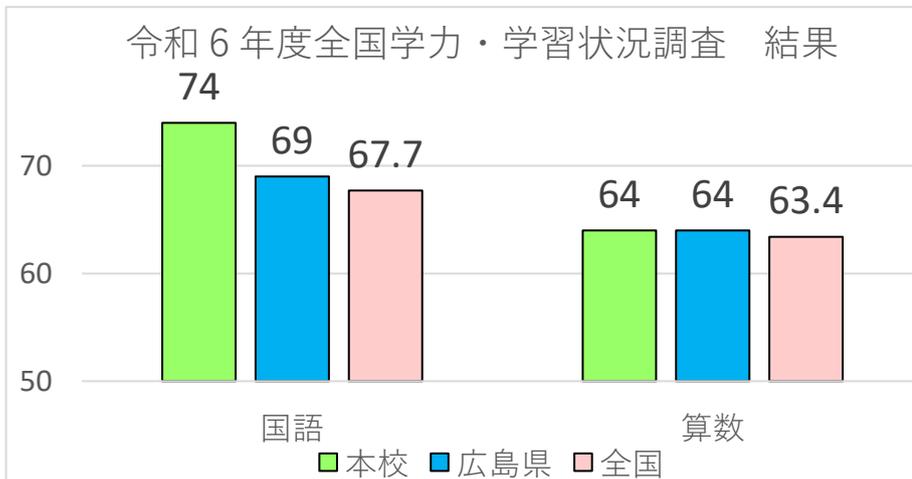
8月28日 自然体験活動(5年生)

2日目の8月28日には、作木町江の川カヌー公園さくぎへ自然体験に行きました。台風の接近もあり、当日の実施も心配しましたが、何とか雨風とも影響を受けることなく、楽しい自然体験となりました。

初めてのカヌー体験は、最初ドキドキしましたが、江の川の雄大な流れの中でカヌー体験及び川遊びを行い、大自然の豊かさやすばらしさを実感することができました。三次には、素敵な場所がたくさんありますね。



令和6年度全国学力・学習状況調査の結果から



4月18日(木)に行われた全国学力・学習状況調査の結果をお伝えします。この調査は、毎年4月に全国の小学6年生、中学3年生を対象に行われるもので、国語・算数(数学)・中学校は英語の学力の状況と、日常生活や学習に対する意識の状況を調査し、各校の課題を分析し、課題を改善するための授業や取組に生かすためのものです。

今年度の調査で、明らかになった本校の成果と課題をしっかりと

りと分析し、2学期以降の授業改善や取組を全校で充実させていきます。

全学年における2学期以降の取組

- ・正しく漢字を書く、適切に文章を読む、正確に計算する等の基礎的・基本的な学習は、その学年の中で徹底して取り組む。
- ・国語や算数の教科の学習と日常生活との関連を図った学習に意識して取り組む。
- ・書いたり・話したり（アウトプット）する時には、算数用語を用いたり、必要な事柄を示したりすることを意識する。
- ・答えを求めて終わりではなく、その妥当性を検討する時間（本当に正解か、他の考え方はないか等）を考える時間を設定する。
- ・学力補充、ドリルタイムを全校で取組み、全教職員で体制を組んで児童の実態に合った指導ができるよう取り組む。
- ・コグトレオンラインを効果的に活用し、認知能力を高める。

地域・家庭・学校で共に未来を創る ～学校運営協議会（コミュニティ・スクール）これからの可能性～

令和7年度から塩町中学校区では、コミュニティ・スクールを導入します。そのため、今年度は「塩町中学校区学校運営協議会発足に向けた準備委員会」を立ち上げ、準備を進めています。

今回は、8月21日(水)に行われた「塩町中学校区学校運営協議会発足に向けた準備委員会」(第2回)の様子をお伝えします。改めて、「コミュニティ・スクール」とは何かについて説明します。

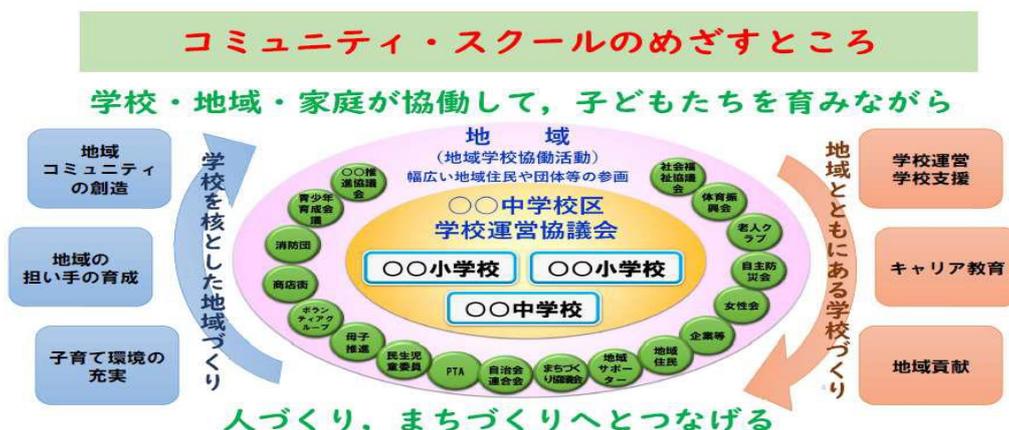
《コミュニティ・スクールとは?》

現代の教育環境は、時代とともに複雑化しており、学校だけでは子供たちにとって十分な教育環境を整備することが難しくなっています。子供にとってより良い教育環境を実現するためには、学校・家庭・地域が連携・協働し、子供の教育への取組を通じて地域の力を高めていくことが重要です。このような中、保護者や地域住民等が学校運営へ参画する「学校運営協議会」を設置し、地域住民と学校が、ともに学校運営の改善や子供の教育について協議し、取組む機会をつくることで、地域と学校の連携・協働を進め、地域力を高めていく仕組みがコミュニティ・スクールです。

《三次市内の動き》

三次市内では、12中学校区のうち、令和6年度までに既に10中学校区がコミュニティ・スクールを導入しています。塩町中学校区では、来年度(令和7年度)からの導入となります。今年度から、「塩町中学校区学校運営協議会発足に向けた準備委員会」を発足し、保護者代表や地域の方、学校の教育活動に関わって下さっている方、教職員など20名の委員で準備を進めています。

《三次市がめざすコミュニティ・スクール》



「塩町中学校区学校運営協議会発足に向けた準備委員会」 (第2回)の様子

《塩町中学校区の子供たちに付けたい力とは?》

最初に、「地域とともにある学校」として現在の子供たちの現状や社会状況を考えたとき、塩町中学校区の子供たちに「こんな力を身に付けておきたい」「こんな子供になってほしい」という思いを出し合いました。

それぞれの立場で考えたことをすり合わせながら、子供たちの成長を支えるべく次のような意見が出ました。

そして、目指す資質・能力を「表現力」「協働性」「主体性」の3つにまとめました。



表現力

- 社会に出たとき自分の言いたいこと表現する力
- 自分の意思を伝える力
- コミュニケーション能力
- アウトプットの力
- 読書による言語能力の向上と書く力
- あいさつ(大きな声、笑顔)
- 自分の意見をはっきりすること
- 相手の話を聴き、自分の考えをちゃんと言える
- 説明力がない
- 自分の言葉で表現できる
- 自分の意見をもとうとし、その意見を積極的に伝えようとする力 等

協働性

- 相手との深い関わりをもつ力
- ほかの人と助け合う
- 社会に出たとき一人では生きていけない
- 和心一致
- 礼節謙譲
- 協調性
- それぞれの人の特性が生きるよう協力し合う力
- 一人一人が力を磨き、チームワークを生かす
- 人の痛みがわかり、感謝、礼儀
- 人の意見を聴き、合わせる能力
- 柔軟力(生きていく力)
- おおらかなで寛容な心
- 社会に役立つ力
- つながり、本当の友達を作ってほしい
- 世代がつながり、三次に関わっていく郷土愛 等

主体性

- 新しい課題に創造性をもって取り組む
- 指示待ちでなく
- 好奇心(疑問をもつ、なぜ?どうして?)
- 挑戦
- 行動力
- 色々な経験を通してよい意味でのトラウマを利用する
- 興味ある物事等を体験・実習し、活用していく力
- 自分に負けない諦めない力
- 一人一人が思い描き、自分のものにしていく力
- 我慢する力、自ら学ぶ力、頑張る力
- 自分の良さや強みを発揮できる力 等

その他にも、豊かな人間力を養うために、健やかな体であること、基礎的な知識・技能が確実に身につく適切な思考・判断ができること等が交流されました。

来年度のコミュニティ・スクールの導入に向け、準備委員会を中心に、今後も熟議を重ねていきます。準備委員会の様子については、またお伝えします。

